

## すべては基礎が大切

先月終わりました中間テスト結果を眺めていて、今年もそろそろ中1の英語の学年平均が下がる時期になったことを再確認しました。1学期の中間テストでは90点近くあった学年平均点も、今回は74.9点にまで下がっています。内容が難しくなるのだから仕方ないということも言えますが、私は勉強のやり方の違いで、ある程度の得点は維持できるものと確信しています。

小学生のうちから英会話教室や中学の内容の授業を先取りする塾に通わせる方も少なからずいらっしゃると思うのですが、だいたいこのくらいの時期からその「効果」がなくなっていくような気がします。

うちの塾の英語指導は、文法的理解にこだわっています。単語や教科書を丸暗記するだけでは、どうしても限界があります。むしろ基本的なルールを理解することで、別の文法事項にも応用ができるようになるケースは数多くあります。やはり思考言語が日本語である私たちにとっては、外国語を学ぶには文法による理解が一番の基礎であると思います。

うちの塾の英語指導は、文法的理解にこだわっています。単語や教科書を丸暗記するだけでは、どうしても限界があります。むしろ基本的なルールを理解することで、別の文法事項にも応用ができるようになるケースは数多くあります。やはり思考言語が日本語である私たちにとっては、外国語を学ぶには文法による理解が一番の基礎であると思います。

同じように数学では「計算力」が基礎であると思います。

最近では教科書のなかに「電卓を使って求めよう」という問題もありますが、これはとんでもない学力低下を引き起こすでしょう。もちろん「一切使うな」とは言いませんが、せめて小中学校の計算は筆算をさせるべきだと思います。頭の中で九九をとさえ、繰り上がり繰り下がりの加減を行ないながら脳細胞のつながりは維持されていくものです。使わなければ衰えていくのは何も筋肉だけではありません。

文部科学省の方々も、小中学校の教科書内容を削減し、一方でノーベル賞をめざすとかエリート教育の充実とかおっしゃっていますが、基礎ができていないものが優秀なアイデアを生むとは思いません。そもそも全体の学力レベルが低下する中では秀でたものが出てきません。あくまでも全体の基礎学力レベルの向上こそが重要なのです。

中3の教科書に「論語」がのっていますが、その中にも「学びて思わざれば則ちくらし。思ひて学ばざれば則ちあやうし。(むやみに読んだり教わるだけで、その内容を良く考えて研究することを怠っていると、物事の道理を明確につかめない。むやみに自分の考えに頼って、広く先人の意見や知識に学び取ろうとしないと、独断に陥り危険である。)」というのがあります。

こんなことは2500年も前からわかっていることなのですけど。

	高森台中	英語	数学	国語	社会	理科	合計
中3	塾生	91.2	92.6	89.6	90.2	94.3	458
	学年	63.9	55.2	62.5	69.4	71.7	323
中2	塾生	86.9	89.3	81.8	76.0	79.4	413
	学年	51.1	60.7	56.7	54.1	55.1	278
中1	塾生	92.6	81.5	66.1	74.6	77.6	393
	学年	74.9	57.8	60.5	59.9	63.7	317

